

ヤナギキリガ

積薪の上に積もった雪をスコップで降ろしていたら雪の中から蛾の死骸が出てきました。取り敢えずデジカメで撮影しておきました。画像の記録は 2015 年 11 月 26 日 10 時 26 分でした。帰宅後に調べた結果ヤナギキリガと判定いたしました。上翅の表しか右の画像では見えていませんが、色合いと微妙な模様が決めます。ネットで探した左下の画像と見くらべてください。翅の中ほどの枠で囲んだような模様と横縞が一致します。

わが愛用の図鑑「札幌の昆虫」には採録されていませんので、希少種なのでありましょう。ですからヤナギキリガで検索しても詳しい情報があまりないのです。ヤガ科キリガ亜科に分類されていました。分布は北海道、本州とかなり大雑把なのです。体長 25mm、出現は 7~9 月と記されていますが、ここ澄川森林で、一昨日の降雪に挟まれるまで生きていた気配なので

11 月まで生きていたと推測されます。食草はイヌコリヤナギと記録された文献があります。積薪の上にはヤナギの枝が重なっていますので、この虫の食草だったのでありましょう。

11 月 24 日から 25 日にかけての積雪は 11 月としては 62 年ぶりのことだったと報道されました。澄川森林に到着して門の扉の開錠をするにも扉前後の除雪を余儀なくされました。基地



にたどり着くにも膝までの積雪をラッセルしなければなりません。ほぼ初雪だったので軽くて助かりましたが、それでも老骨の身には息切れしました。参加者全員での基地まわりの除雪作業にも午前中一杯かかりました。さらに澄川南小学校の来林にそなえての準備作業で、子供たちが歩くであろう道筋の踏み固めのために帰路は参加者全員でそのルートをたどりまして、意識的に踏み固めた次第でありました。孫世代の子供たちが楽しく雪の森林を歩けるようにとの爺世代の心遣いが通じてくれれば嬉しいかぎりであります。